

名古屋大学留学生センター

事業名	『日本組織なじみ塾』アルバイトを通じた日本組織学習機会の提供			
実施期間	平成23年6月15日～平成24年1月31日			
場 所	名古屋大学、中津川研修センター、企業3社、アルバイト先			
参加者	外国人留学生	地域住民・企業等	その他	合計
	20 名	79 名	11 名	110 名

<実施内容>

日本企業への就職意欲が高い留学生を対象に「アルバイトを通じて日本企業の仕事の仕方を学ぼう」という基本理念で企画した。留学生は合宿で改善の基礎知識を学び、企業見学において改善の実態を学びつつ、アルバイト先の改善テーマを決めその解決策を目標にして、周囲の人とコミュニケーションを取りながら、チームの一員として改善活動を実践した。最終的には12月に代表6名が成果を発表した。昨年度に続く2年目であるが、今年度の成果としては、留学生が日本社会になじむだけでなく、日本人が多様な文化になじむ大切さにも触れた発表があったことである。



合宿研修の様子



合宿のグループ発表

<参加者からのコメント>

孫宇さん(中国)/SUN Yu (China)

今回の活動を通して気づいたことは二つあります。①仕事は待っているのではなく、自ら考えて提案することが大事です。その努力によって、仕事が面白くなり、やりがいを感じます。②発想は実行しなければただのアイデアで終わりであるが、やってみれば必ず実ります。大事なのは行動に移す勇気をもって、チャンスを積極的につかみに行くことだと思います。

李楊さん(中国)/LI Yang (China)

今回の馴染み塾改善テーマを通して感じたこと。

- ①人はそれぞれいろいろな考え・視点があり、わかっているようでわかっていなかったです。
- ②仕事は自分の好き嫌いで行動するのではなく、お客さんの立場・視点で行動します。
- ③いろんな視点から問題が見つかり、店長さんやほかの店員さんと話すことで解決策のレベルが高まります。④一緒に解決することで仕事のやりがいが高まります。

特に感じたことは、これまで単にお金を稼ぐ目的でアルバイトしてきましたが、今回のなじみ塾を通して、仕事や人を見る目が全く変わりました。自分の店として考えるようになり、店の売りに自分がどう貢献していくべきかという意識が大変強くなりました。